

**施工業者様へ**

弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱い説明書」を添付しております。

必ず、お施主様に手渡し、使用方法を説明していただきますようお願い致します。

※取扱説明書は、下記のURLからダウンロードできます。

<https://www.daiken.jp/qr/manual/>



## システム手摺35型

## システム手摺35型 抗ウイルス仕様



この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。

施工の際には良く読み、手順通りに正しく施工してください。

### 危険の定義とシンボルマーク

**注意**

誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

# 必ずお守りいただきたいこと

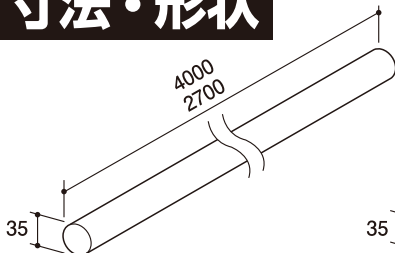
システム手摺 35 型を長期間安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

## ⚠ 注意

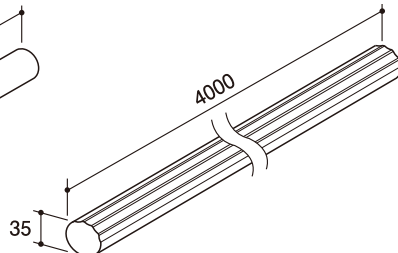
- 室内、かつ水がかりのない場所に設置してください。
- 下地は、P3 下地条件を参照してください。
- ブラケットの取付間隔は 900mm 以下としてください。
- ジョイント金具等の接続部やエンドキャップを用いる端部から 100mm 以内の位置には、必ずブラケットを設置してください。
- ブラケット間にジョイント金具が 2 つ以上あるような納まりにはしないでください。
- 手摺の設置高さは 750mm ~ 800mm が一般的です。
- ビスの締め付け不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。

## 寸法・形状

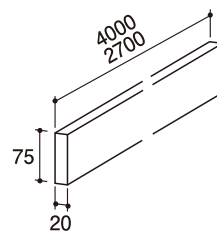
下図の□□には、色柄品番が入ります。



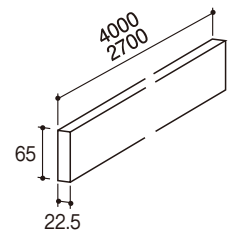
●丸棒ストレート



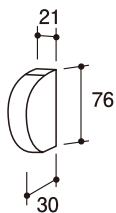
●グリップ付丸棒ストレート



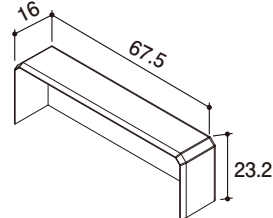
●ベーシックタイプ  
後付け手摺受け枠部材



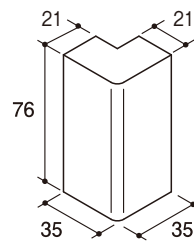
●ゴム集成材タイプ  
後付け手摺受け枠部材



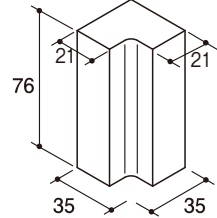
●ベーシックタイプ後付け  
手摺受け枠用エンド部材



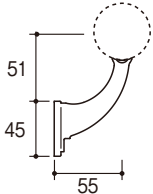
●ベーシックタイプ後付け  
手摺受け枠用エンド部材 (樹脂)



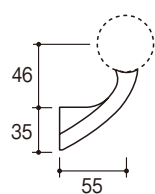
●ゴム集成材タイプ後付け  
手摺受け枠用出隅部材



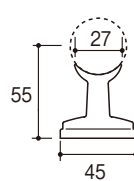
●ゴム集成材タイプ後付け  
手摺受け枠用入隅部材



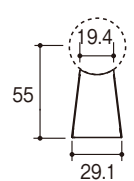
●着脱ブラケット横用  
■品番: ME5961-2□□



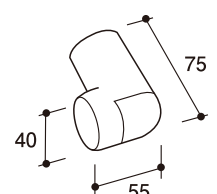
●ブラケット横用  
■品番: ME5964-1□□



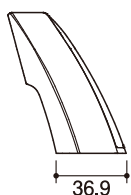
●着脱ブラケット縦用  
■品番: ME5962-2□□



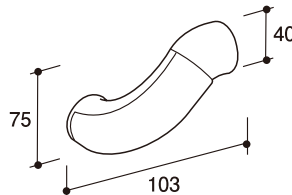
●ブラケット縦用  
■品番: ME5962-1□□



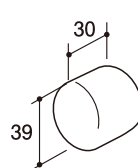
●着脱エンドブラケット  
■品番: ME5963-2□□



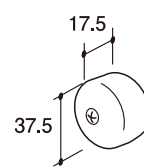
●エンドブラケット  
■品番: ME5963-1□□



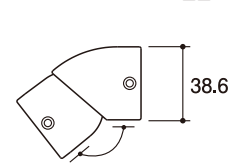
●受け枠用エンドブラケット  
■品番: ME5984-1□□



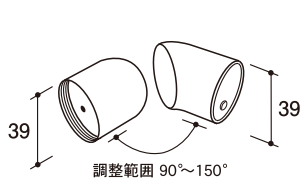
●エンドキャップ (ゴム集成材)  
■品番: ME5955-1□□, ME5418-1□□



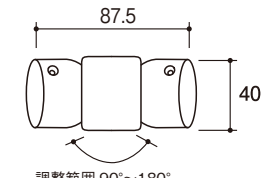
●エンドキャップ (金属)  
■品番: ME5971-1□□



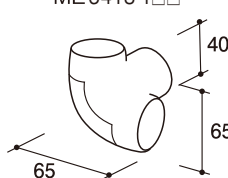
●フレキシブルジョイント  
■品番: ME5972-1□□



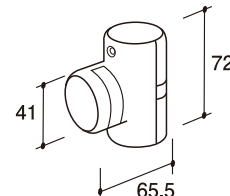
●着脱フリージョイント  
■品番: ME5973-1□□



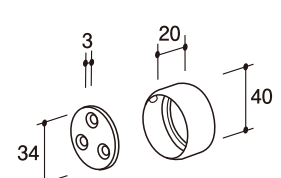
●着脱フレキシブルジョイント  
■品番: ME5972-2□□



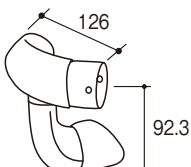
●着脱コーナーブラケット  
■品番: ME5974-1□□



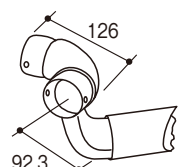
●T字型ジョイント金具  
■品番: ME5975-1□□



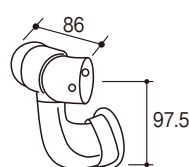
●ジョイント金具  
■品番: ME5976-1□□



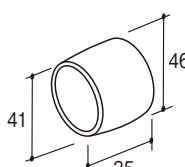
●出隅自在ブラケット  
■品番: ME5429-1□□



●入隅自在ブラケット  
■品番: ME5433-1□□



●直受自在ブラケット  
■品番: ME5436-1□□



●エンドソケット  
■品番: ME5428-1□□

## 同梱ビス一覧

| 部材            | 入数  | 同梱ビスのサイズ(呼び径 × 長さ) |         |         |
|---------------|-----|--------------------|---------|---------|
|               |     | 用途                 | サイズ     | 数量(本/梱) |
| 着脱ブラケット横用     | 2 入 | 壁への固定用             | φ4.0×40 | 6       |
|               |     | 手摺への固定用            | φ3.0×20 | 4       |
|               |     | 着脱ベースの固定用          | φ4.0×8  | 4       |
| ブラケット横用       | 2 入 | 壁への固定用             | φ4.0×40 | 3       |
|               |     | 手摺への固定用            | φ3.5×20 | 2       |
| 着脱ブラケット縦用     | 2 入 | 壁への固定用             | φ4.0×40 | 8       |
|               |     | 手摺への固定用            | φ3.0×20 | 4       |
|               |     | 着脱ベースの固定用          | φ4.0×6  | 4       |
| ブラケット縦用       | 2 入 | 壁への固定用             | φ4.0×50 | 4       |
|               |     | 手摺への固定用            | φ3.5×25 | 4       |
| 着脱エンドブラケット    | 1 入 | 壁への固定用             | φ4.0×40 | 3       |
|               |     | 手摺への固定用            | φ3.5×20 | 2       |
|               |     | 着脱ベースの固定用          | φ5.0×6  | 2       |
| エンドブラケット      | 1 入 | 壁への固定用             | φ4.0×50 | 3       |
|               |     | 手摺への固定用            | φ3.5×25 | 2       |
| エンドキャップ(金属)   | 2 入 | 手摺への固定用            | φ4.0×30 | 2       |
| 着脱コーナーブラケット   | 1 入 | 壁への固定用             | φ4.0×40 | 3       |
|               |     | 手摺への固定用            | φ3.5×20 | 4       |
|               |     | 着脱ベースの固定用          | φ5.0×6  | 2       |
| 着脱フレキシブルジョイント | 1 入 | 手摺への固定用            | φ3.0×16 | 4       |
|               |     | 着脱ベースの固定用          | φ4.0×28 | 1       |

| 部材           | 入数  | 同梱ビスのサイズ(呼び径 × 長さ) |          |         |
|--------------|-----|--------------------|----------|---------|
|              |     | 用途                 | サイズ      | 数量(本/梱) |
| フレキシブルジョイント  | 1 入 | 手摺への固定用            | φ3.0×16  | 2       |
| 着脱フリージョイント   | 1 入 | 手摺への固定用(木口面)       | φ3.5×40  | 1       |
|              |     | 手摺への固定用(側面)        | φ3.5×20  | 1       |
| T字型ジョイント金具   | 1 入 | 手摺1への固定用           | φ3.0×16  | 3       |
|              |     | 手摺2への固定用           | φ3.0×16  | 1       |
| ジョイント金具      | 2 入 | 手摺への固定用(木口面)       | φ3.0×25  | 6       |
|              |     | 手摺への固定用(側面)        | φ3.0×20  | 2       |
| 受け枠用エンドブラケット | 1 入 | 壁への固定用             | φ4.0×40  | 3       |
|              |     | 手摺への固定用            | φ4.0×40  | 1       |
| 出隅自在ブラケット    | 1 入 | 壁への固定用             | φ4.0×60  | 4       |
|              |     | ソケットと本体の固定用        | φ4.0×14  | 3       |
|              |     | 手摺への固定用            | φ3.5×16  | 4       |
| 入隅自在ブラケット    | 1 入 | 壁への固定用             | φ4.0×120 | 4       |
|              |     | ソケットと本体の固定用        | φ4.0×14  | 3       |
|              |     | 手摺への固定用            | φ3.5×16  | 4       |
| 直受自在ブラケット    | 1 入 | 壁への固定用             | φ4.0×60  | 4       |
|              |     | ソケットと本体の固定用        | φ4.0×14  | 3       |
|              |     | 手摺への固定用            | φ3.5×16  | 4       |
| エンドソケット      | 1 入 | 壁への固定用             | φ3.5×40  | 2       |
|              |     | 手摺への固定用            | φ3.0×20  | 1       |

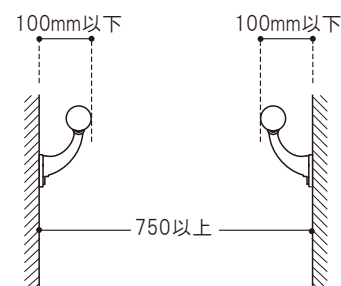
## 全 体 工 程

|             |                                  |
|-------------|----------------------------------|
| 確 認         | 色合わせ・破損の有無等の確認をしてください。           |
| 下 地         | 十分な強度を有する下地材を施工してください。           |
| 割り付け位置出し    | ブラケットの間隔やジョイント金具の割り付けを行います。      |
| ブラケットの取り付け  | 位置出し線に合わせ、ブラケットを取り付けます。          |
| 切断加工        | 現場寸法に合わせ、手摺を切断します。               |
| ジョイント金具取り付け | 手摺の端にジョイント金具を取り付けます。             |
| 手摺ジョイント手摺固定 | ジョイント金具を合わせます。次にブラケットに手摺を取り付けます。 |
| 切断加工        | 強度・外観等を、もう一度見直して確認してください。        |
| 養 生         | 工事が完了するまでは、手摺をダンボールなどで養生してください。  |

## 確認事項

使用工具：ノコギリ・接着剤・釘・電動ドライバー、ドリル、ドライバー、六角レンチ(同梱)

- 条 件：・階段部へ施工する場合、階段の有効幅が 750mm 以上になるよう設計してください。(建築基準法で定められています。)
- ・下記の下地条件を確認してください。



## 保管方法

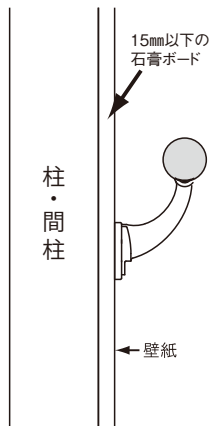
雨水などがかからない、水平なところに保管してください。  
立てかけたりして保管しますと反り・変形の原因となります。

## 下地条件

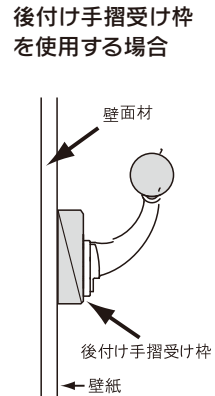
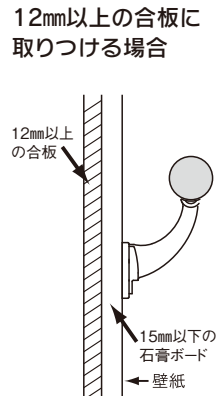
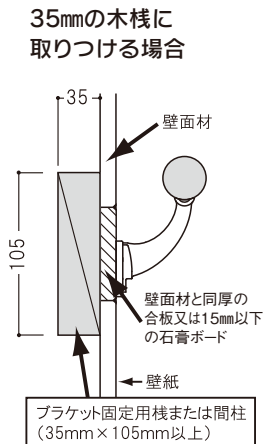


・ブラケットの固定位置に柱・間柱がない場合、必ず下記表の下地に施工してください。

### ■ブラケット固定位置に柱・間柱がある場合



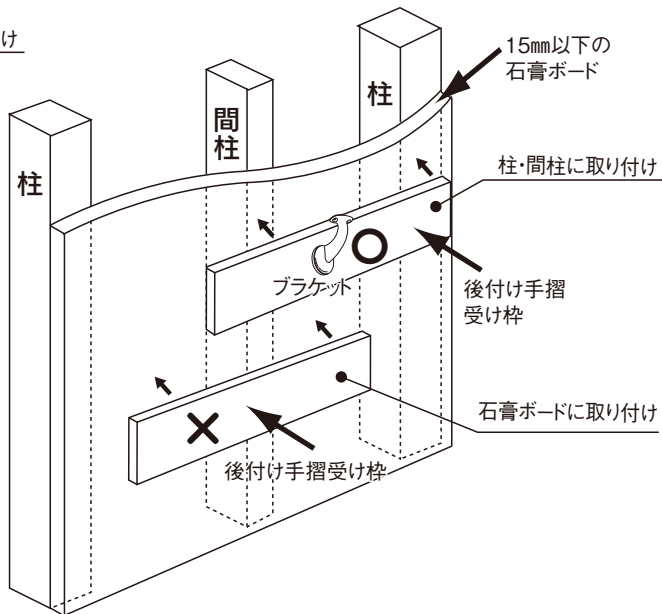
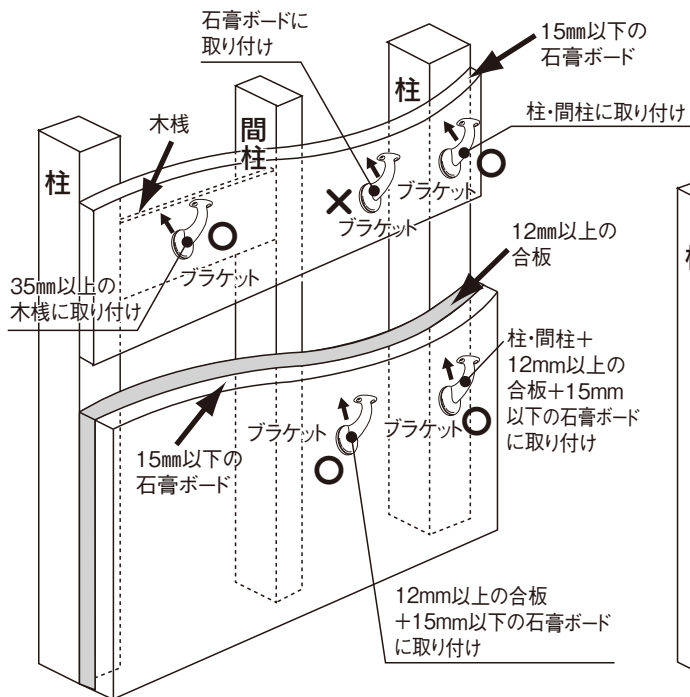
### ■ブラケット固定位置に柱・間柱がない場合



| 対象製品          |                | 下 地 条 件 |                                       |                        |
|---------------|----------------|---------|---------------------------------------|------------------------|
|               |                | 柱・間柱    | 35×105mm以上の木材＋壁面材と同厚の合板又は15mm以下の石膏ボード | 15mm以下の石膏ボード＋12mm以上の合板 |
| 横 用<br>ブラケット  | 35型着脱ブラケット横用   | ○       | ○                                     | ○                      |
|               | 35型ブラケット横用     |         |                                       |                        |
| エンド<br>ブラケット  | 35型着脱エンドブラケット  |         |                                       | ○                      |
|               | 35型エンドブラケット    | ○       | ○                                     | ○                      |
|               | 35型受枠用エンドブラケット |         |                                       | 100mm以内にブラケットを入れることで可能 |
| 縦 用<br>ブラケット  | 35型着脱ブラケット縦用   | ○       | ○                                     | ○                      |
|               | 35型ブラケット縦用     |         |                                       |                        |
| コーナー<br>ブラケット | 35型コーナーブラケット   | ○       | ○                                     | ○                      |



後付け手摺受け枠は、柱・間柱へ455mm以内の間隔で固定してください。固定には必ず同梱のビスを使用してください。

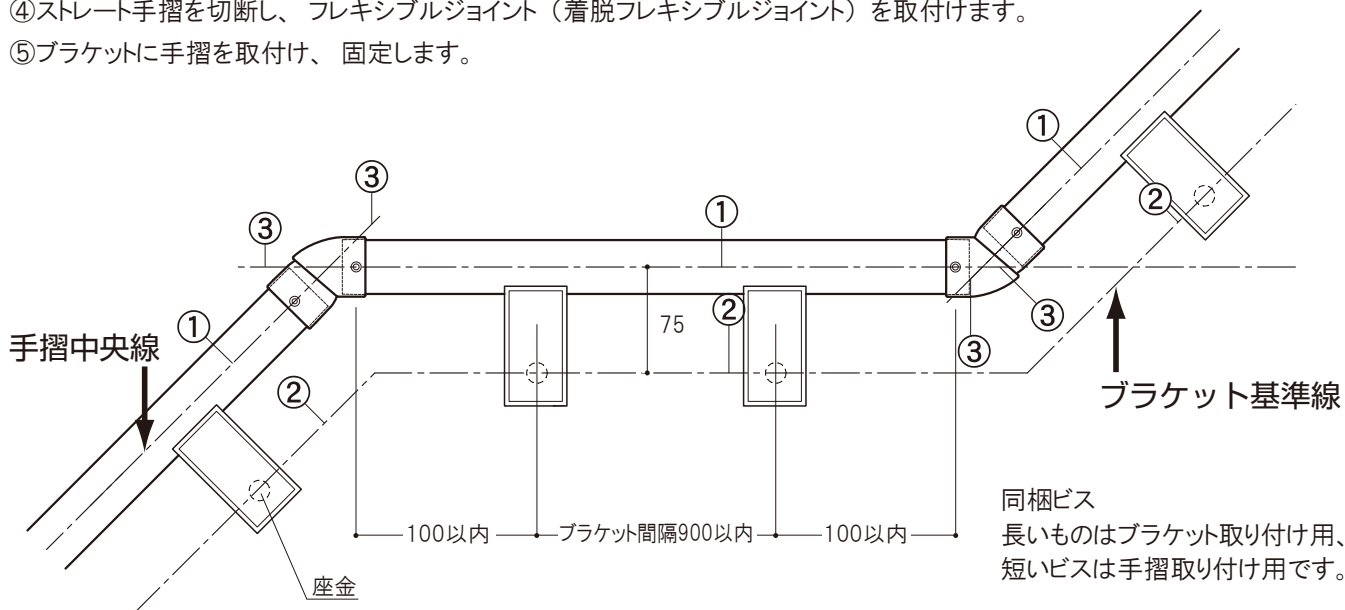


## 割り付け

5P～11Pのページを参照してください。

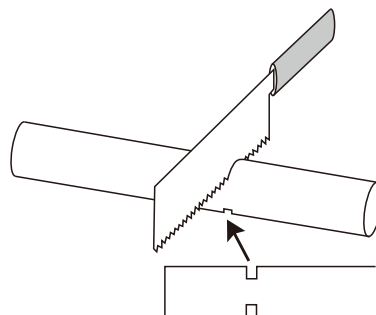
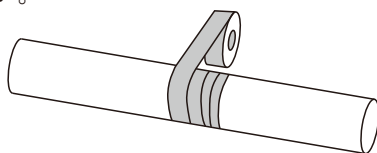
## ブラケット取り付け

- ①手摺の高さを決め、手摺中心線を設定します。(通常高さ 750 ~ 850mm)
- ②ブラケットの取付位置〈座金位置(手摺中心-75mm)〉を設定し、ブラケットを取り付けます。
- ③手摺中心線の交点から、ストレート手摺の長さを決めます。
- ④ストレート手摺を切断し、フレキシブルジョイント(着脱フレキシブルジョイント)を取付けます。
- ⑤ブラケットに手摺を取付け、固定します。



## 手摺の切断

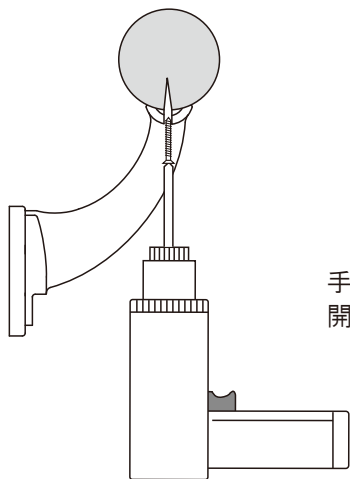
そのまま切断しますと塗装が剥がれるおそれがあります。  
切断面を市販のマスキングテープで巻くか、下面に切り溝を付けてから切断してください。



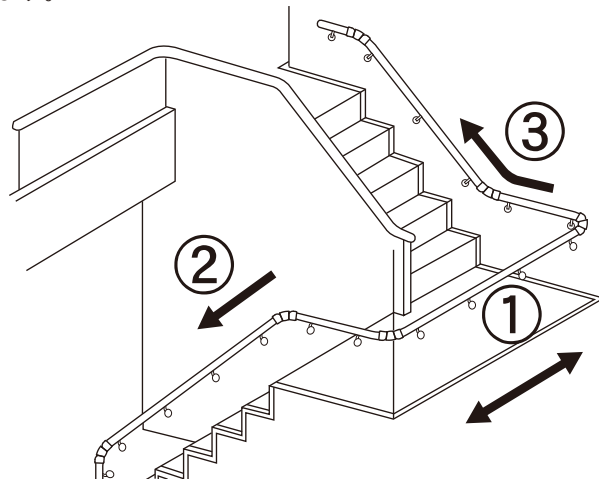
## 手摺の固定

### ◆ポイント

一方から順に固定するとずれることがありますので、中央部を先にとめてから、端に向かってとめてください。①②③の順になります。



手摺にリード穴(φ2.0)を開け、同梱ビスを打ちます。

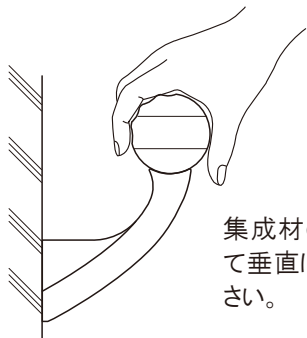


## 確認養生

- ・施工後、もう一度本書と現物をチェックして施工に誤りがないか確認してください。
- ・工事が完了するまでは、手摺をダンボールなどで養生してください。
- その際、養生テープを手摺に直接貼らないでください。塗装が剥がれるおそれがあります。

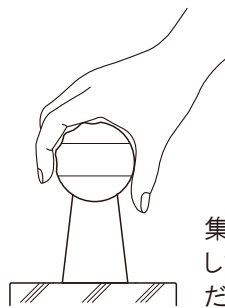
# グリップ付丸棒の取り付け

グリップ付き丸棒ストレートは、握った際に、溝部分がちょうど指にかかる様、下図の様に取付けてください。



集成材の接着層が壁面に対して垂直になるよう取付けてください。

ブラケット横用の場合



集成材の接着層が笠木面に対して平行になるよう取付けてください。

ブラケット縦用の場合

## 廻り階段に連続手摺を取り付ける場合

### ◆ポイント

廻り階段では接合部の角度は 90° にならない場合があります。

⑤

### 位置決め

順番は①②③④⑤の順になります。

①②は通常の階段と同じです。

③④は側桁と平行に割り付けます。

⑤は側桁とは平行になりません。③④の端部をつなぐように割り付けてください。

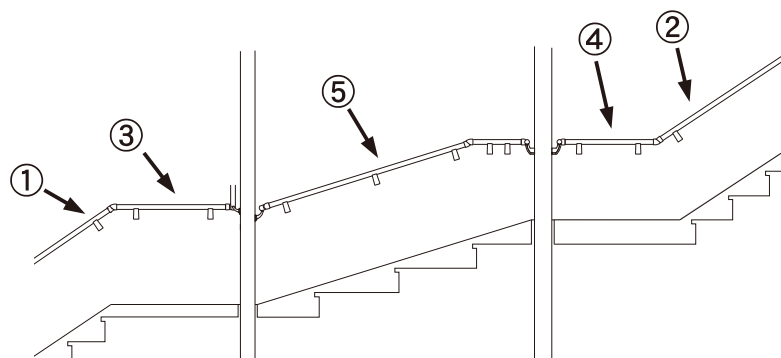
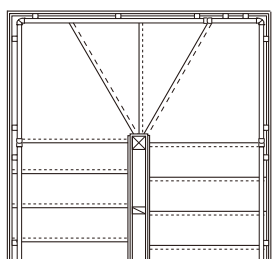
③④⑤のコーナー部の高さはそれぞれ調節可能です。適切な高さに納めてください。

③

④

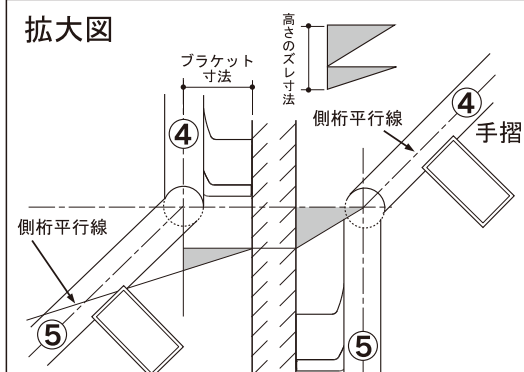
①

②



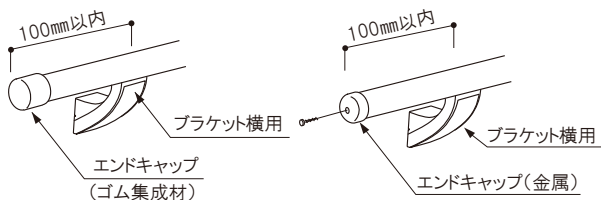
※手摺の取り付けは⑤④③②①の順で取付けてください。

### 拡大図

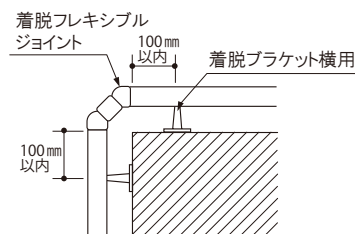
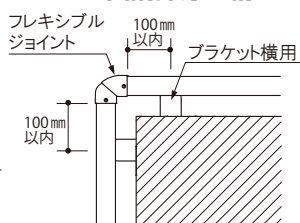


## 納まりパターン

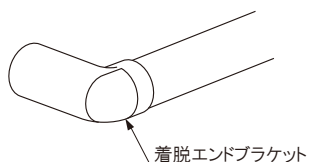
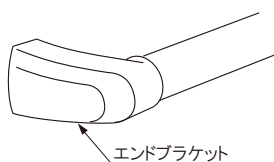
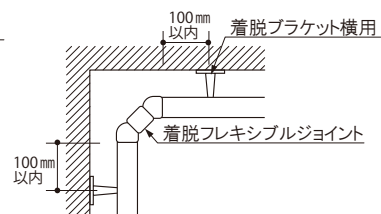
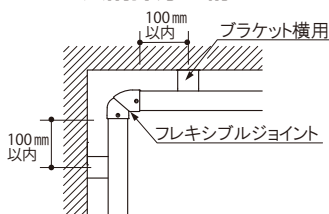
### ■手摺エンド部分の納まり



### ■出隅部分の納まり



### ■入隅部分の納まり

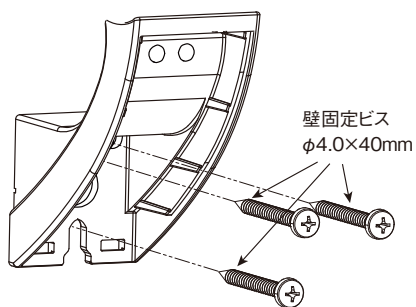


## ブラケット横用

### 施工の手順

#### ①ブラケットの固定

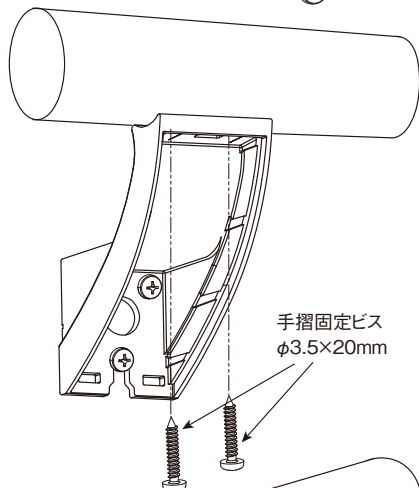
固定位置を決定し、同梱の壁固定ビス(φ4.0×40mm)3本を用いて本体を確実に固定してください。



|  |           |                                                                  |
|--|-----------|------------------------------------------------------------------|
|  | <b>注意</b> | ビスが奥まで差し込まれていることを確認してください。<br>ビスが奥まで差し込まれていないと、カバーの取付けができなくなります。 |
|--|-----------|------------------------------------------------------------------|

#### ②手摺の固定

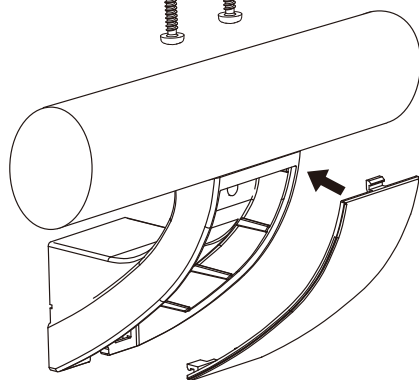
手摺をブラケットの受け座にあて、手摺にリード穴(φ2.0mm)を開けた後、同梱の手摺固定ビス(φ3.5×20mm)2本を用いて手摺を確実に固定してください。



|  |           |                                                                             |
|--|-----------|-----------------------------------------------------------------------------|
|  | <b>注意</b> | 手摺に必ずリード穴(φ2.0mm)を開けてください。<br>リード穴を開けないと、手摺の割れ、ビスの破損などが生じ、施工不良が生じるおそれがあります。 |
|--|-----------|-----------------------------------------------------------------------------|

#### ③カバーの取り付け

カバー上側のツメを本体に差し込んだ後、下側のツメを本体にはめ込んでください。

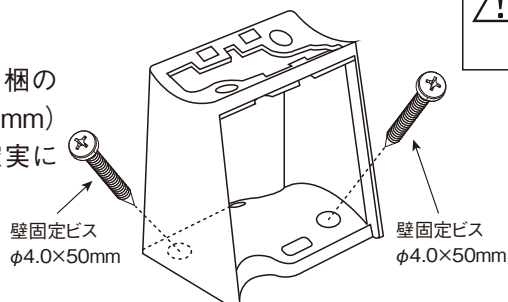


## ブラケット縦用

### 施工の手順

#### ①ブラケットの固定

固定位置を決定し、同梱の壁固定ビス(φ4.0×50mm)2本を用いて本体を確実に固定してください。



|  |           |                                                      |
|--|-----------|------------------------------------------------------|
|  | <b>注意</b> | ブラケットの固定後に手摺の固定が難しい場合は、位置を決めた後に手順を逆(②→①)にして施工してください。 |
|--|-----------|------------------------------------------------------|

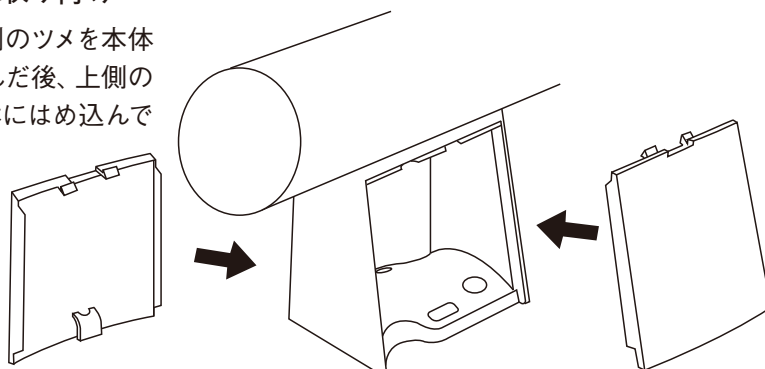
#### ②手摺の固定

手摺をブラケットの受け座にあて、手摺にリード穴(φ2.0mm)を開けた後、同梱の手摺固定ビス(φ3.5×25mm)2本を用いて手摺を確実に固定してください。



#### ③カバーの取り付け

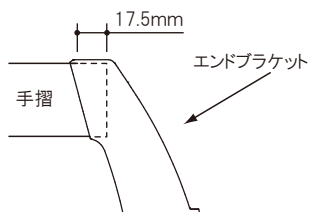
カバー下側のツメを本体に差し込んだ後、上側のツメを本体にはめ込んでください。



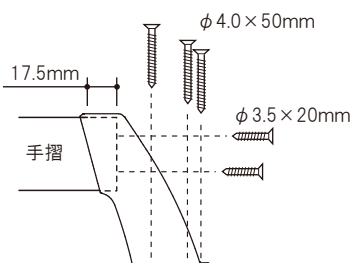
# エンドブラケット

## 施工の手順

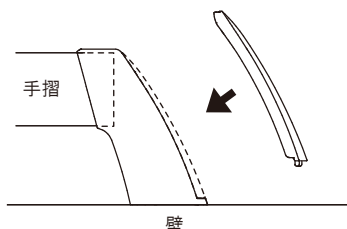
①納まりに合わせて手摺を切断します。エンドブラケットには 17.5mm手摺が入りますので注意して切断してください。



②手摺をエンドブラケットに差し込み、リード穴(φ2.0)をあけた後、同梱のビスで固定します。

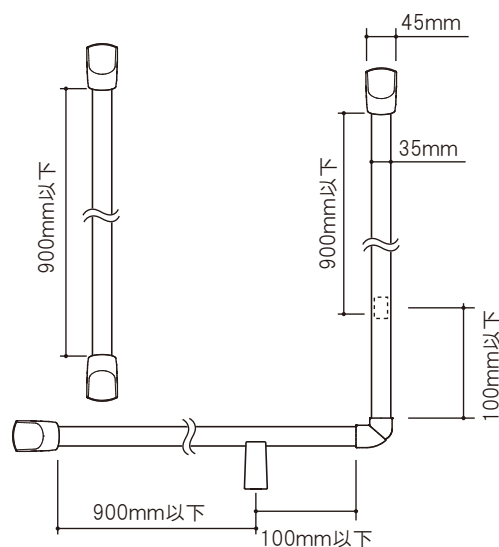


③樹脂カバーをはめ込みます。



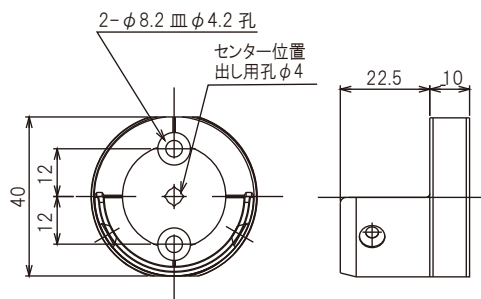
## 納まり部【例】

|  |                                                                                                |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <b>注意</b><br>・ブラケットの取り付け間隔は、900mm以下にしてください。<br>・ジョイント部材を使用する場合は、必ず 100mm以下の位置にブラケットを取り付けてください。 |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------|



# エンドソケット

## 仕様

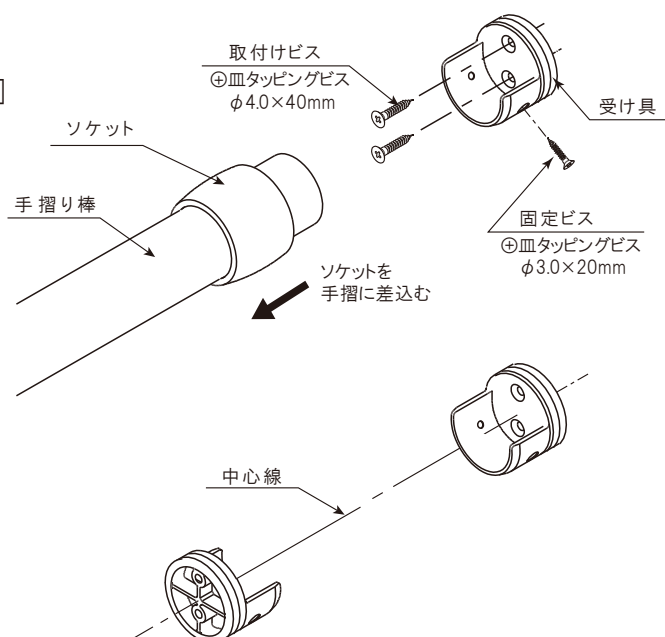


| 部 品 名                 | 員数 |
|-----------------------|----|
| 受け具                   | 1  |
| ソケット                  | 1  |
| 皿タッピングビス<br>φ4.0×40mm | 2  |
| 皿タッピングビス<br>φ3.0×20mm | 1  |

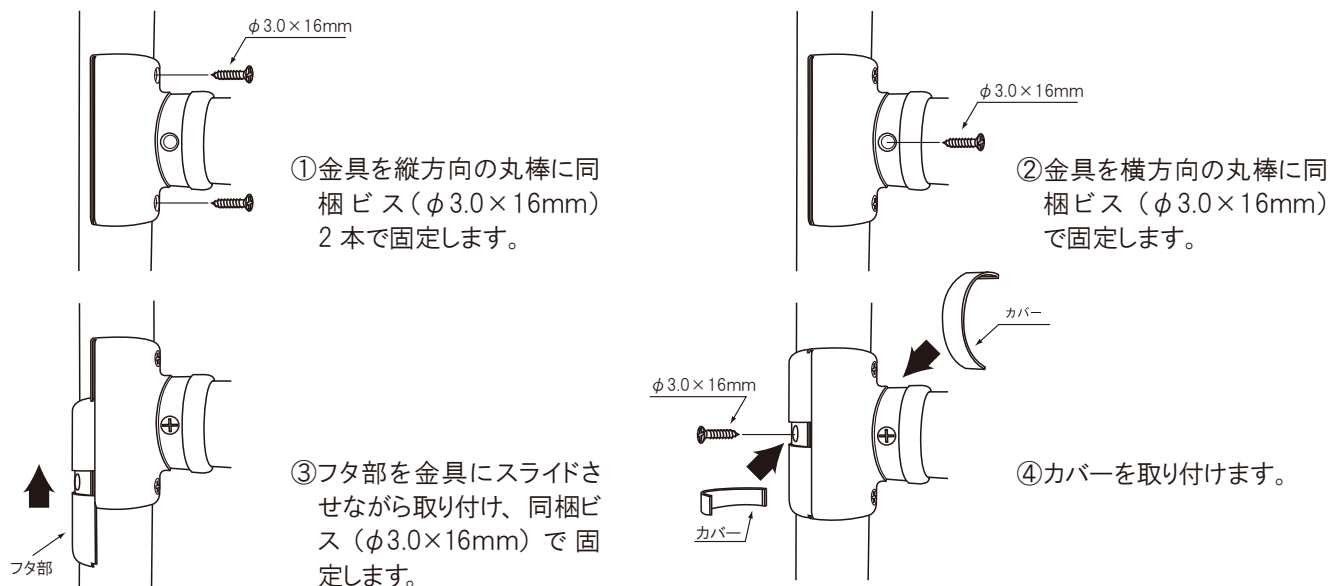
|  |                                                                                            |
|--|--------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <b>注意</b><br>エンドソケットの取付けの際、向かい合う受け具同士の中心がずれないようにご注意ください。中心がずれるとソケットを受け具に取付けられなくなるおそれがあります。 |
|--|--------------------------------------------------------------------------------------------|

## 施工の手順

- ①取付け位置を決めて、受具を[皿タッピングビス φ4.0×40mm] (2本)で固定してください。❶必ず下地に止めてください。
- ②ソケットを手摺に差し込んでください(図参照)。この時、ソケットの向きが正しいかをご確認ください。
- ③手摺の両端面を左右の受け具に乗せ、[皿タッピングビス φ3.5×20mm] (各1本)で固定してください。  
❶固定ビスは皿穴にしっかり納まるよう取付けてください。固定ビスが歪んだり、浮いた状態で取付けると、ソケットが受け具に納まらなくなるおそれがあります。
- ④ソケットを受け具に合わせ、ソケットが完全に受け具を覆うまで、締めてください。
- ⑤ソケットを取付けた後、手摺に歪みや曲り、緩みが無いかをご確認ください。また、手摺がしっかり受け具に取付けられていることをご確認ください。



## T字型ジョイント金具

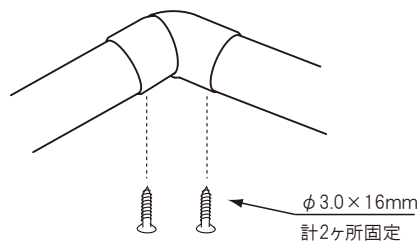
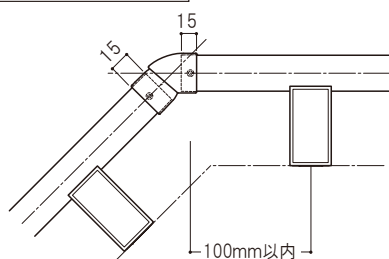


## フレキシブルジョイント / 着脱フレキシブルジョイント

- ①下図の納まりを参考に、ストレート手摺の長さ切断を行います。  
フレキシブルジョイント（着脱フレキシブルジョイント）には 15mm手摺が入りますので注意して切断してください。
- ②リード穴（φ2.5）を開け、同梱ビスで固定します。

### ■フレキシブルジョイント

#### 取り付け方法について

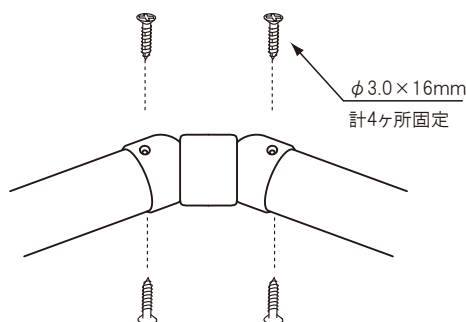
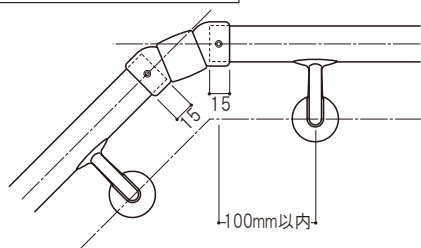


**注意**

ジョイント部材を使用する場合は、必ず 100mm以下の位置にブラケットを取り付けてください。

### ■着脱フレキシブルジョイント

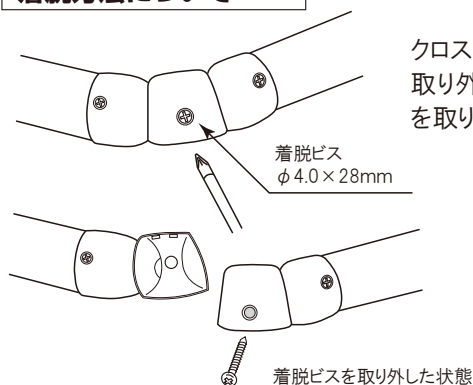
#### 取り付け方法について



**注意**

着脱をおこなう場合は、着脱ビスをドライバーで取りはずせる位置にしてください。着脱ビスが取りはずせなくなります。

#### 着脱方法について

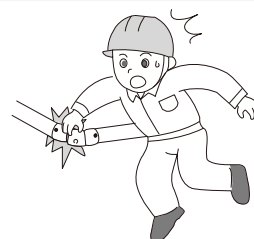


クロス貼りや荷物の搬入などで取り外す際は中央の着脱ビスを取り外してください。



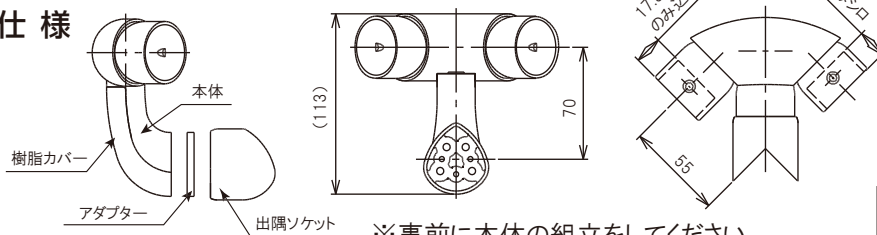
**注意**

着脱ビスを再度取り付ける場合は固く締まっているか確認してください。固く締まっていない場合はフレキシブルジョイントが回転、分解しケガをするおそれがあります。



## 出隅自在ブラケット

### 仕様



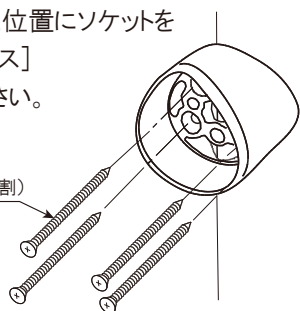
※事前に本体の組立をしてください

| 部 品 名                    | 員数 |
|--------------------------|----|
| 本体                       | 1  |
| カバー                      | 1  |
| 出隅ソケット                   | 1  |
| アダプター                    | 1  |
| 丸皿タッピングビス φ3.5×16mm (先割) | 4  |
| 皿小ネジ M4.0×14mm           | 3  |
| 皿タッピングビス φ4.0×60mm (先割)  | 4  |

### 施工の手順 1：墨だし→ 2：ブラケット固定→ 3：手摺固定

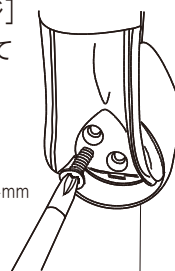
- ①位置決めをした位置にソケットを  
[皿タッピングビス]  
で固定してください。

④皿タッピングビス  
φ4.0×60mm (先割)



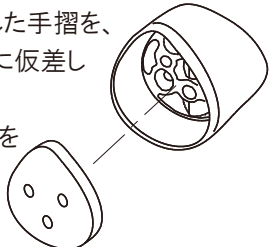
- ④ソケットに本体を  
[皿小ネジ]  
で固定して  
ください。

④皿小ネジ  
M4.0×14mm



- ②必要な長さに切断した手摺を、  
本体の手摺受け部に仮差し  
込みしてください。

- ③ソケットにアダプターを  
挿入してください。



- ⑤手摺を[丸皿タッピングビス  
φ3.5×16mm (先割)]で固定してください。

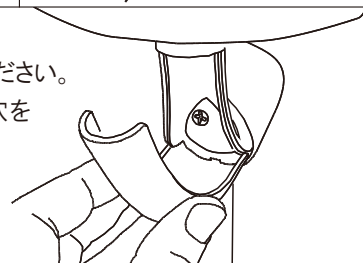
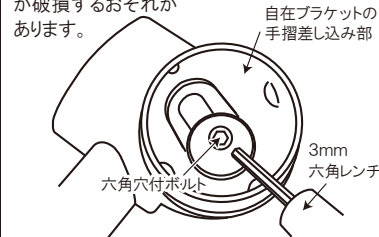
- ❗手摺にはφ2.0mm程度のリード穴を  
開けてください。

- ⑥樹脂カバーを取付けてください。



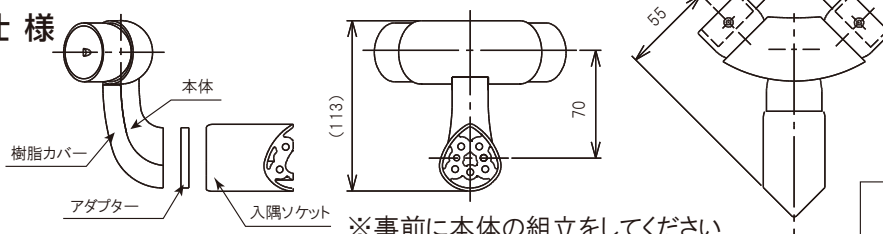
注意

ブラケット施工前に手摺差し込み部のガタつきがないことを確認してください。ガタつく場合は、六角穴付ボルトを3mmの六角レンチで締めてください。  
出隅自在ブラケット・入隅自在ブラケット・直受自在ブラケットを連続して使用するときは手摺の回転を防ぐため、必ず間にブラケットを取付けてください。



## 入隅自在ブラケット

### 仕様



※事前に本体の組立をしてください

| 部 品 名                    | 員数 |
|--------------------------|----|
| 本体                       | 1  |
| カバー                      | 1  |
| 出隅ソケット                   | 1  |
| アダプター                    | 1  |
| 丸皿タッピングビス φ3.5×16mm (先割) | 4  |
| 皿小ネジ M4.0×14mm           | 3  |
| 皿タッピングビス φ4.0×60mm (先割)  | 4  |

### 施工の手順 1：墨だし→ 2：ブラケット固定→ 3：手摺固定

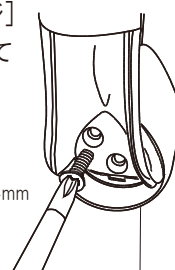
- ①位置決めをした位置にソケットを  
[皿タッピングビス]  
で固定してください。

④皿タッピングビス  
φ4.5×120mm (先割)



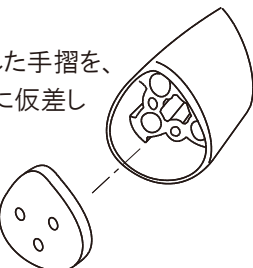
- ④ソケットに本体を  
[皿小ネジ]  
で固定して  
ください。

④皿小ネジ  
M4.0×14mm



- ②必要な長さに切断した手摺を、  
本体の手摺受け部に仮差し  
込みしてください。

- ③ソケットにアダプターを  
挿入してください。



- ⑤手摺を[丸皿タッピングビス  
φ3.5×16mm (先割)]で固定してください。

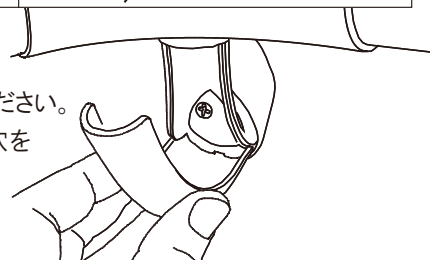
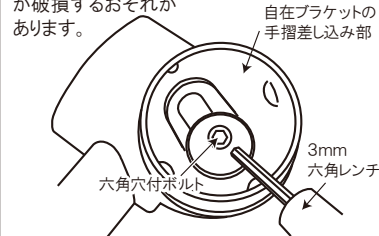
- ❗手摺にはφ2.0mm程度のリード穴を  
開けてください。

- ⑥樹脂カバーを取付けてください。



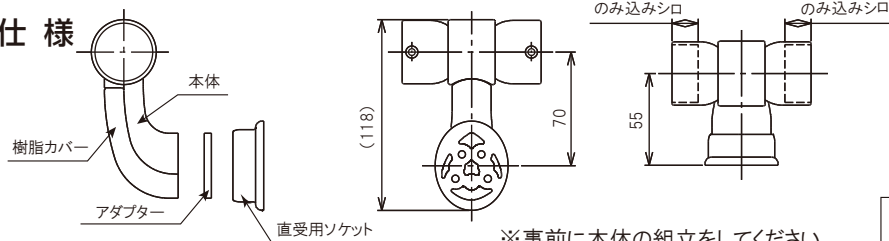
注意

ブラケット施工前に手摺差し込み部のガタつきがないことを確認してください。ガタつく場合は、六角穴付ボルトを3mmの六角レンチで締めてください。  
出隅自在ブラケット・入隅自在ブラケット・直受自在ブラケットを連続して使用するときは手摺の回転を防ぐため、必ず間にブラケットを取付けてください。



# 直受自在ブラケット

## 仕様



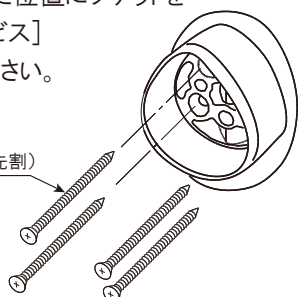
※事前に本体の組立をしてください

| 部 品 名                                        | 員数 |
|----------------------------------------------|----|
| 本体                                           | 1  |
| カバー                                          | 1  |
| 出隅ソケット                                       | 1  |
| アダプター                                        | 1  |
| 丸皿タッピングビス $\phi 3.5 \times 16\text{mm}$ (先割) | 4  |
| 皿小ネジ M4.0 $\times$ 14mm                      | 3  |
| 皿タッピングビス $\phi 4.0 \times 60\text{mm}$ (先割)  | 4  |

## 施工の手順 1：墨だし→ 2：ブラケット固定→ 3：手摺固定

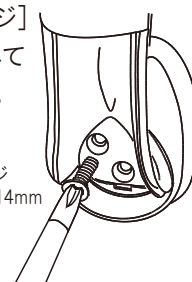
- ①位置決めをした位置にソケットを  
[皿タッピングビス]  
で固定してください。

④皿タッピングビス  
 $\phi 4.0 \times 60\text{mm}$  (先割)



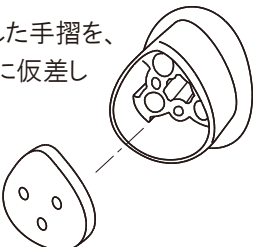
- ④ソケットに本体を  
[皿小ネジ]  
で固定して  
ください。

④皿小ネジ  
M4.0  $\times$  14mm



- ②必要な長さに切断した手摺を、  
本体の手摺受け部に仮差し  
込みしてください。

- ③ソケットにアダプター  
を挿入してください。



- ⑤手摺を[丸皿タッピングビス  
 $\phi 3.5 \times 16\text{mm}$  (先割)]で固定してください。

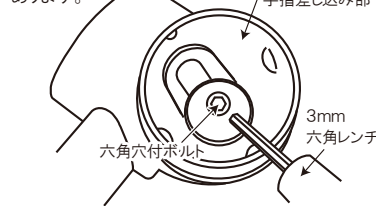
- ❗手摺には  $\phi 2.0\text{mm}$  程度のリード穴を  
開けてください。

- ⑥樹脂カバーを取付けてください。

⚠  
注意

ブラケット施工前に手摺差し込み部のガタつきがないことを確認してください。ガタつき場合は、六角穴付ボルトを3mmの六角レンチで締めてください。

出隅自在ブラケット・入隅ブラケット・直受自在ブラケットを連続して使用するときには手摺の回転を防ぐため、必ず間にブラケットを取付けてください。



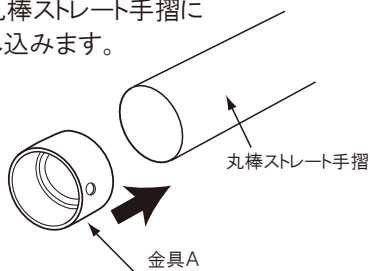
## ジョイント金具



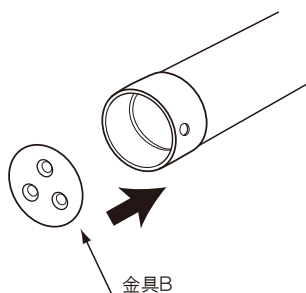
注意

ジョイント部材を使用する場合は、必ず 100mm 以下の位置にブラケットを取り付けてください。

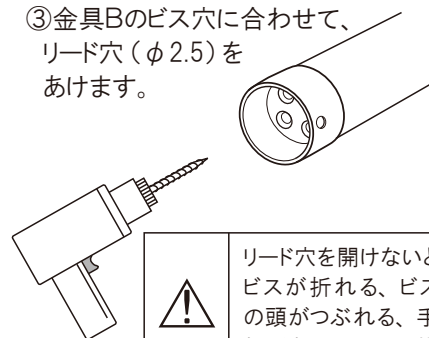
- ①金具A(輪状)の浅い方(深さ3mm)を丸棒ストレート手摺に差し込みます。



- ②金具B(円盤状)を金具Aに差し込みます。



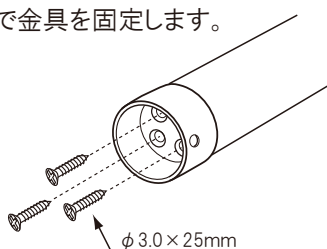
- ③金具Bのビス穴に合わせて、リード穴( $\phi 2.5$ )をあけます。



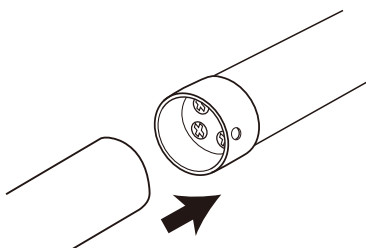
注意

リード穴を開けないとビスが折れる、ビスの頭がつぶれる、手摺が割れるなど、施工不良の原因となります。

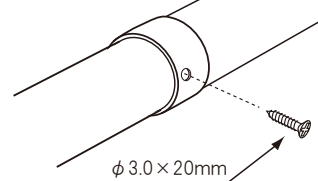
- ④同梱のビス( $\phi 3.0 \times 25\text{mm}$ , 3本)で金具を固定します。



- ⑤丸棒ストレート手摺を深い方(深さ14mm)に差し込みます。



- ⑥金具Aのビス穴に合わせて、リード穴( $\phi 2.5\text{mm}$ )をあけ、同梱のビス( $\phi 3.0 \times 20\text{mm}$ )を打ちます。



注意

ビスは確実にしめてください。



注意

手摺は必ず奥まで差し込んでください。はずれるおそれがあります。

# 着脱ブラケット



**注意**

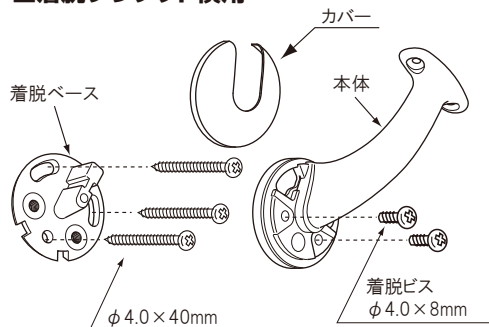
ブラケットの取り付け間隔は 900mm 以下にしてください。

## 取り付け方法について

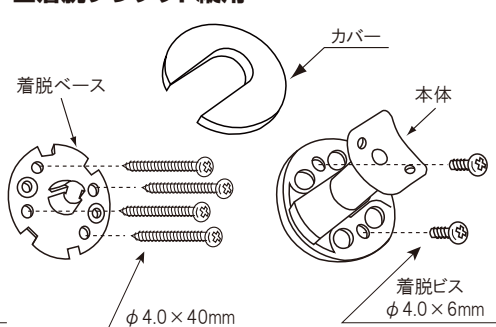
### 着脱方法について

着脱ブラケット本体と着脱ベースを固定している着脱ビス2本を取り外してください。  
このとき壁は、着脱ベースのみ残ります。  
クロス貼り後、着脱ビス2本を確実に固定してください。  
固定後、ブラケットのカバーを取り付けてください。

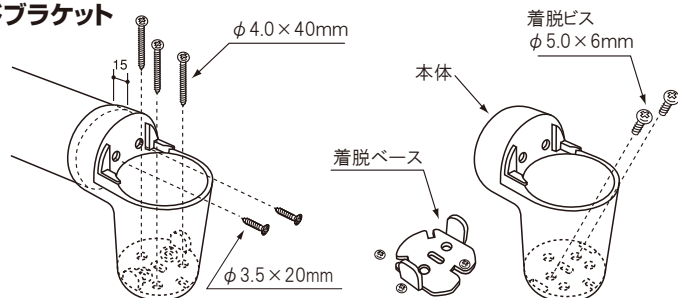
#### ■着脱ブラケット横用



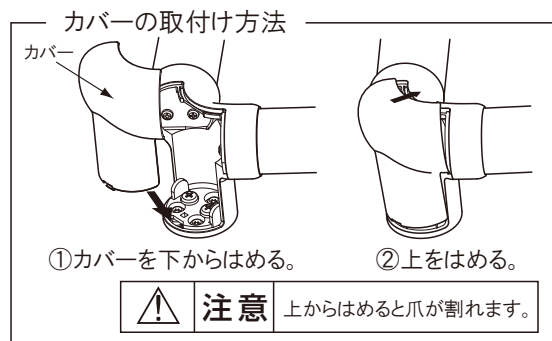
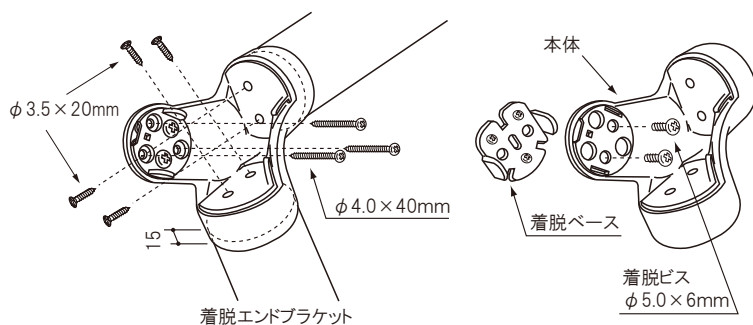
#### ■着脱ブラケット縦用



#### ■着脱エンドブラケット



#### ■着脱コーナーブラケット



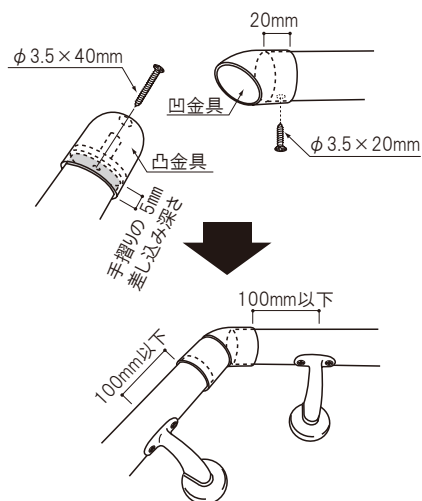
# 着脱フリージョイント



**注意**

ジョイント部材を使用する場合は、100mm 以下の位置に必ずブラケットを取り付けてください。

## 取り付け方法について

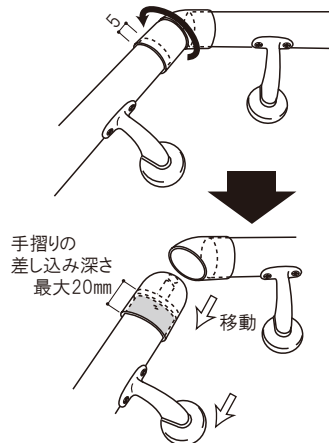


凹金具に丸棒をはめ込み、横方向より同梱ビス (φ 3.5 × 20) で取り付けてください。

凸金具を丸棒にはめ込みセンター穴より同梱ビス (φ 3.5 × 40) で取り付けてください。

凸金具と凹金具を接触させ、丸棒の取付位置を決めてから、ブラケットを丸棒に取り付けてください。

## 着脱方法について



凸金具を回転させると、ジョイント部の間隔が広がります。(最大15mm凸金具が移動します。)  
ブラケットのジョイント部に間隔を広げた後、ブラケットの着脱作業を行ってください。



**注意**

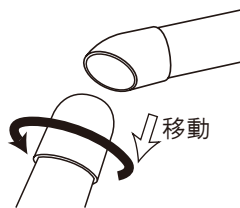
手摺に必ずリード穴 (φ 2.0) を開けてください。また、同梱のビスを使用してください。

# 着脱手順

## 施工の手順

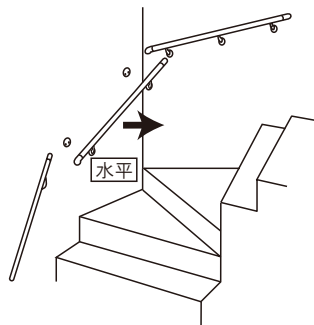
### ①ジョイント部

着脱フリージョイント凸部を回転させ、着脱可能な位置までジョイント部の間隔を広げてください。  
(最大15mm凸金具が移動します。)



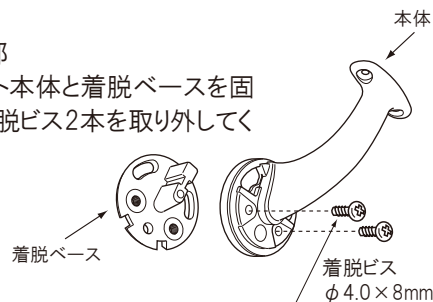
### ③取り外し

ブラケットと丸棒を、ゆっくりと手前に引き、取り外してください。



### ②ブラケット部

着脱ブラケット本体と着脱ベースを固定している着脱ビス2本を取り外してください。



### ④取り付け

クロス貼り、荷物の搬入後、取り外しの逆の手順で、手摺を取り付けしてください。



#### 注意

取り外しの際、無理に引き抜くと、破損が生じます。



#### 注意

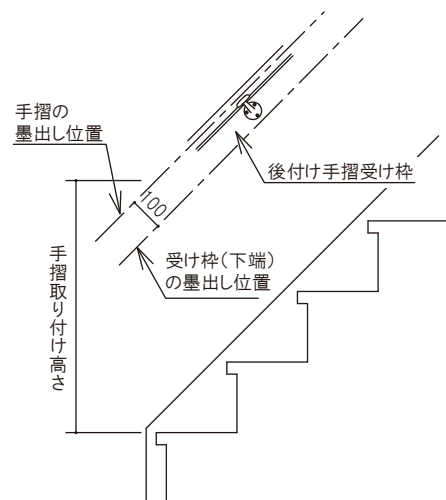
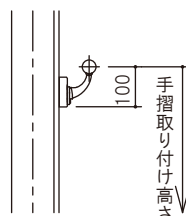
着脱ビスを確実に固定してください。  
着脱ビスの固定後、ブラケットのカバーを取り付けてください。

## 後付け手摺受け枠

①丸棒の取り付け高さを決めてください。

②手摺の取り付け高さより100mm以下の位置に墨出しをしてください。

③柱・間柱の位置を壁面センサー等で確認してください。



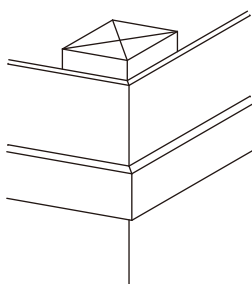
#### 注意

- ・後付け手摺受け枠は、柱・間柱に確実に固定してください。柱・間柱への固定ピッチは、水平方向に455mm以下としてください。
- ・受け枠用以外のエンドブラケットは取り付けできません。

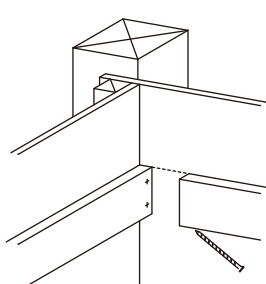
④柱・間柱への取り付け位置を決め、後付け手摺受け棒にリード穴（φ3）をあけてください。

⑤同梱のビス（ワッシャー付き）を打ち、ビスキャップをかぶせてください。

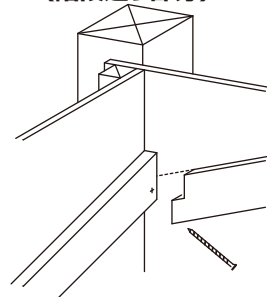
### 出隅の納まり



### 入隅の納まり（水平部分）



### 入隅の納まり（階段廻り部分）



先に固定した後付け手摺受け棒に上図のような要領でビスを打ち、固定してください。

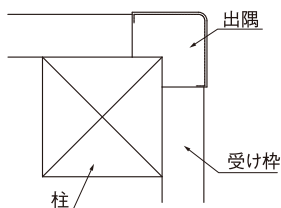


#### 注意

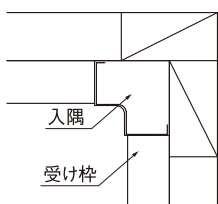
- ・後付け手摺受け棒を段違いにしない場合、手摺を連続して取り付けできません。
- ・廻り階段等の後付け手摺受け棒を設置する場合、入隅部や直階段と廻り階段の取り合い部において、「入隅自在ブラケット」、および「直受自在ブラケット」が取り付けできない場合がございます。

## ゴム集成材タイプ 後付け手摺受け枠出隅 / 入隅

### ■後付け手摺受け枠 出隅 納まり



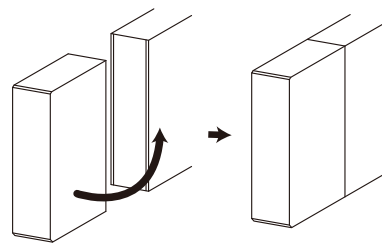
### ■後付け手摺受け枠 入隅 納まり



## ベーシックタイプ 後付け手摺受け枠エンド部材

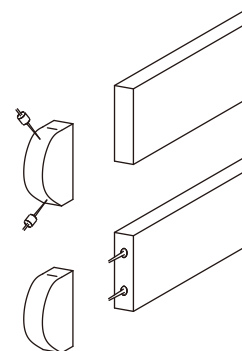
エンド部材

両面テープ



## ゴム集成材タイプ後付け手摺受け枠エンド部材

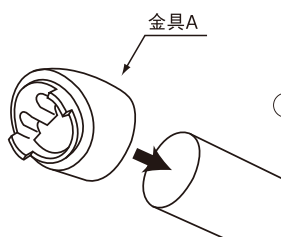
- 【パターン 1】** ①木口面に木工用接着剤を塗布し、かくし釘で固定する。  
かくし釘が打ちにくい場合は、リード穴(φ1)を開けてから、固定してください。  
②接着剤の硬化後、かくし釘の頭を飛ばし、クレヨンパテなどで補修してください。



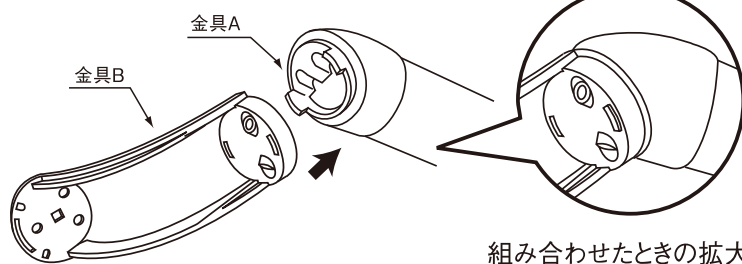
- 【パターン 2】** ①木口面に木工用接着剤を塗布し、合釘で固定してください。

## 受け枠用エンドブラケット

|  |                                                                                                                                                                                                    |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p><b>注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下地が15mm以下の石膏ボード+12mm以上の合板(35mm以下の木下地)の場合 受け枠用エンドブラケットの100mm以内にブラケットを入れてください。</li> <li>・上記以外の推奨下地ではブラケットの取り付け間隔は900mm以下にしてください。</li> </ul> |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

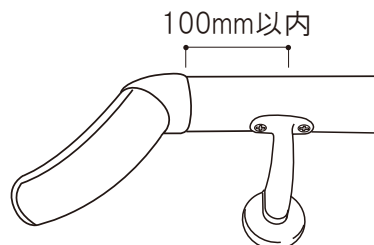


- ①金具A(上図参照)を丸棒に差し込みます。

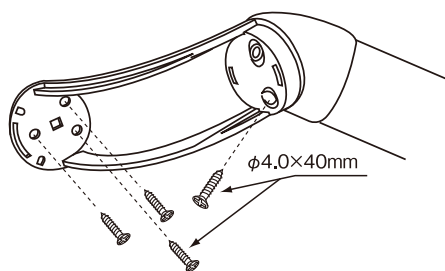


- ②金具Bを金具Aと組み合ませます。

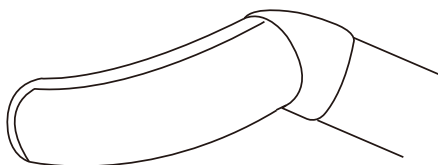
組み合わせたときの拡大図



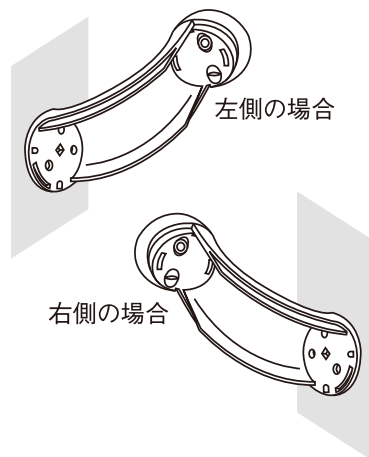
下地が15mm以下の石膏ボード+12mm以上の合板(35mm以下の木下地)の場合



- ③ビスで固定します。



- ④キャップをかぶせます。



|  |                                                                         |
|--|-------------------------------------------------------------------------|
|  | <p><b>注意</b></p> <p>手摺に必ずリード穴(φ2.0)を開けてください。<br/>また、同梱のビスを使用してください。</p> |
|--|-------------------------------------------------------------------------|

# 取扱説明書

この度は、DAIKEN のシステム手摺 35 型をご採用いただき、ありがとうございました。  
この取扱説明書は、いつでも利用できるよう大切に保管してください。

- 定期的な点検項目 ※製品の長期間の使用に伴い、部品等が劣化（経年劣化）を生じ安全上支障が出るおそれがあります。  
経年劣化による重大事故を防止し、製品を長く安全にご使用いただくために、  
お客様地震による以下の点検を実施いただきますよう、お願いします。

| 点検部位  | 点検項目                    | 兆候有無 | 経年劣化に伴う、具体的な事象 |
|-------|-------------------------|------|----------------|
| 手摺本体  | ・ガタツキがある。・変形、ヒビ割れがある。   | 有・無  | ・手摺の破損、人の転倒    |
| ブラケット | ・ガタツキがある。・ビスのゆるみ、抜けがある。 | 有・無  | ・手摺の外れ、人の転倒    |

## お手入れの方法

- ・木部や金具の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
- ・施設等で塩素系漂白剤を使用される場合は、変色の恐れがありますので、適切な倍率で薄めてご使用ください。
- ・酸性洗剤や酢などの酸性の液体、またシンナー・ベンジン等はご使用しないでください。表面のツヤが変わったり、変色する恐れがあります。



## 製品の保証について

製品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

### ■対象製品

システム手摺35型

### ■保証期間

製品施工完了後、2年とさせていただきます。弊社製品の施工完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間経過後の修理については、有料となります。

### ■製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。

- ①建物の設計・施工に起因する不具合
- ②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- ③自然現象・周辺環境等（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合
- ④室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キシミ音などの不具合
- ⑤極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合

- ⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
- ⑦入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する不具合
- ⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
- ⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変褪色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
- ⑩用途外に使用された場合の故障および損害（例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等）
- ⑪犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やクイムシなどの虫害に起因する不具合
- ⑫仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
- ⑬保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
- ⑭製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
- ⑮離島などの遠隔地への出張を要する修理をおこなう場合、出張に要する実費
- ⑯その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

※1：火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

## お問い合わせ窓口について

●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

### 製品に関するお問い合わせ

DAIKEN お客様センター

☎0120-787-505

（フリーダイヤル）

●受付時間…平日9:00～17:00

（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで  
写真も  
送ることが  
できます。



### 修理・交換部品のご購入の方は

DAIKEN パーツショップ

部品のネット販売サイトです。

※購入に際しては登録が必要です。

<https://www.daiken.jp/qr/service/>

DAIKEN ホームページ ▶ お客さまサポート ▶

▶ ▶ ▶ ▶ DAIKEN パーツショップ



ご相談窓口における  
個人情報のお取扱い

大建工業株式会社および大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。）なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>

231215-IN-072TE-S35-STR